

アメリカ アラスカ州 パーマー高校 清水 さん

留学期間 R1.8～R2.3（1年間）

1 留学の成果

学業面では、私は、英語で他の教科を学ぶというよりも、理解しやすい授業を取って友達とコミュニケーションを取りながら英語を学ぶということを中心に活動をしていました。そのため、数学や化学などの授業は取らず、体育や合唱など比較的易しめの授業を取りました。そのことで、友達をたくさん作ることができ、英語を話すことで様々な知識を得ることができました。最初の内は上手く聞き取れないし、おもしろいことも言えなくて、自分の英語力の無さにがっかりしたことが何回もありました。しかし、積極的に話していく内に聞き取れるようになり、自分の成長を感じた時が一番嬉しかったです。

生活面では、ほとんど自分で自分のことをする生活だったので、一人で暮らす能力を身につけることができました。また、ホストファミリーとはいえ赤の他人なので、自分とは違う他者と上手く暮らして行く知恵も身につけました。留学をしてから、世界観は180度変わりました。アメリカには、日本人みたいにあまり自分の意見は言わず、話し合いの時に黙ってるような人なんていませんでした。また、様々な人がいるので、いろいろな考え方も知ることができ、物事を考える時にいろんな考え方ができるようになり、様々なことに気がつくようになりました。最初は自分の意見を言うなんてことはできず、友達の提案に賛成することがほとんどでした。今思えば、あの時の私はすごくつまらない人だと思われていたと思います。しかし、自分の意見を言う人たちに囲まれていたおかげで、私は自分の意見を臆することなく伝えることができるようになりました。

更には、友達を作ることの大切さを改めて実感しました。留学中は自分だけではどうしても分からないことがたくさんありました。そのクラスに教えてくれる人がいるのといないのとでは授業の受けやすさが全然違いました。友達に自分を知ってもらい受け入れてもらえるかどうかでその後に大きく影響してきます。自分から積極的に話しかけて友達に受け入れてもらうことで自信がつき、更にどんどん喋れるようになり、成長することができました。また、英語はただの言語なんだということにも気付かされました。私は今までどれだけ流暢に、きちんとした文法で英語を話せるかを意識していました。これも私が最初なかなか英語を話せなかった理由だと思います。しかし、実際住んでみるとそんなことは気にならず、伝えようとする意志と、ほんのちょっとのボキャブラリーで自分の言いたいことの70%は伝わります。このことから、発音やどれだけ流暢に話せるかなどは気にせず、プライドを捨てて積極的に話すことで、たくさんのことを吸収しようと思うようになりました。

2 履修状況、課外活動等

(1) 履修科目

- ・パーカッション
- ・体育
- ・クリエイティブライティング
- ・日本語
- ・合唱
- ・調理
- ・educators rising
- ・green house
- ・世界史

(2) 課外活動および受賞歴等

- ・アラスカ州の educators rising の children's literature pre-K 部門で優勝。
- ・毎週木曜日に授業で小学校へ行き先生のアシスタントをした。
- ・yuki festival でカレーやおにぎりを売り、資金集めの手伝いをした。

3 今後の活動予定

大学に行き、もう一年留学しようと考えています。英語を難なく話せるようにして、将来は海外を拠点に活動していきたいと思います。また、留学しようかと迷ってる人の背中を押す活動もしていきたいです。

4 記録写真



クリスマスに見に行った歌のライブです。

友達と撮ったハロウィンの写真です。





Home coming dance の時、友達と撮った写真です。